

◆第23回災害ボランティア活動を、星の花公園内において実施。



(活動終了後、集合写真)

(撮影者：山口代表)

平成29年5月13日(土) 筑後信用金庫信和会は、第23回目の災害ボランティア活動(有志 5名うち女性3名)を八女市星野村麻生地区の「星の花公園」内にてシャクナゲ花柄摘み活動を実施しました。

今回の参加者には、福岡県「農山村との絆」事業協定応援団体 JAF 様の新人社員の皆さん、熊本地震被災地から自治会の有志の皆さんなど4団体と一般ボランティア参加の皆さんと一緒に活動しました。

この星の花公園には、約3万本のシャクナゲがあり、今月7日(日)に1ヶ月間のシャクナゲまつりが終了しました。毎年まつり終了後、翌年の開花のために花柄を摘みます。展望台からの眺めがよく、2013年NHK福岡発地域ドラマ「苦くて、甘い～希望の茶～」のロケ地となったところです。また、園内には、平成24年の水害により被災した場所がそのままとなっています。

作業は、公園内の案内コース周辺に広がり、シャクナゲの花柄を摘んでいきます。天候は、前日の雨の影響もあり午前中曇り日で気温もあまり上がりませんでした。午後からは良く晴れて気温も上昇しました。一日の作業では、ごくわずかな花柄しか摘むことができませんが、作業中のそよ風やうぐいすの鳴き声には花鳥風月を楽しむ趣きがあり、心が癒されるようでした。また、作業終了後のスイカは、美味しくいただきました。ごちそうさまでした。

【参加者の活動風景】



(作業前の挨拶)



(花柄摘み前)



(花柄)



(花柄摘み)



(花柄摘み後)



(活動中 ①)



(活動中 ②)

皆さん、早朝からの作業、ほんとうにお疲れ様でした。